

研究業績（2016年度）

【 著書 】

1. 花田礼子(分担執筆)
ファーマナビゲーター抗 RANKL 抗体編, chapter1「その他の臓器における RANKL の役割」
松本俊夫編集, メディカルビュー社, 90-96, 2016

【 招待講演・シンポジウム 】

1. 花田礼子
「生理活性ペプチド・NeuromedinU システムの新たな生理機能の解明と病態との関連.」
第 39 回医大ヶ丘研究会, 2016 年 1 月 20 日, 大分(招待講演)
2. 花田礼子
「神経ペプチド・ニューロメジン U システムの生理機能の解明ー生活習慣病との関わりー.」
第 2 回腎と生活習慣病先端医学セミナー, 2016 年 2 月 12 日, 熊本(招待講演)
3. 花田礼子
「神経ペプチド・ニューロメジン U の生理機能と生活習慣病との関わり.」
第 17 回 Clinical Science Club, 2016 年 2 月 17 日, 東京(招待講演)
4. 花田礼子
「骨代謝調節因子・RANKL/RANK システムの多彩な生理機能.」
第 29 回内科第一(内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座)同門会 特別講演,
2016 年 11 月 12 日, 大分(招待講演)